

項目	内容
名称	ヨモギ (カズザキヨモギ、モチグサ)、マグワート (オウシュウヨモギ) [英]Mugwort (オウシュウヨモギ) [学名]Artemisia princeps Pamp (=A. vulgaris L. var indica Maxim.) (カズザキヨモギ)、Artemisia vulgaris L.. (オウシュウヨモギ)
概要	ヨモギは、草もちなどに使われ、日本でも馴染みのある植物である。世界的にもかなり多くの種類があり、ヨーロッパではマグワート (オウシュウヨモギA. vulgaris) が利用されている。日本のヨモギ (Artemisia princeps Pampan) は、オウシュウヨモギの変種で成分も似ていると考えられているため、ここではオウシュウヨモギの情報も並記する。
法規・制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 食薬区分                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨモギ (ガイヨウ/モグサ) 枝先、葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。</li> </ul> </li> <li>■ 食品添加物                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般飲食物添加物 ヨモギ抽出物が収載されている。</li> </ul> </li> </ul>
成分の特性・品質	

<p>主な成分・性質</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1, 8-シネオールcineol、<math>\alpha</math>-、<math>\beta</math>-ツヨン (thujone) などの精油類 (0.2%) のほか、カフェタンニン [クロロゲン酸類 (chlorogenic acids) ] が多量に含まれる。ビタミンA、B1、B2、C、Dが含まれる。</li> <li>・ 日本のヨモギの薬用部分は葉 (艾葉&lt;ガイヨウ&gt;)、5~7月にかけて、葉をとり、日干しにする。本州~九州、小笠原諸島、朝鮮半島に分布。多年草で高さ60 cm~1.2 m。花期は9~10月。</li> <li>・ 福島県産ヤマヨモギ <i>Artemisia montana</i> の成熟植物の根を除いた全草に含まれる sesquiterpenelactone 類は yamayomoginin、yomogiartemin、yomogin であったという報告がある (1985178035)。</li> </ul>
<p>分析法</p>	<p>-</p>
<p>有効性</p>	
<p>循環器・呼吸器</p>	<p>調べた文献の中に見当たらない。</p>
<p>消化系・肝臓</p>	<p>調べた文献の中に見当たらない。</p>
<p>糖尿病・内分泌</p>	<p>調べた文献の中に見当たらない。</p>
<p>ヒト 生殖・泌尿器</p>	<p>調べた文献の中に見当たらない。</p>
<p>で 脳・神経・感覚器</p>	<p>調べた文献の中に見当たらない。</p>
<p>の 免疫・がん・炎症</p>	<p>調べた文献の中に見当たらない。</p>
<p>評価 骨・筋肉</p>	<p>調べた文献の中に見当たらない。</p>
<p>発育・成長</p>	<p>調べた文献の中に見当たらない。</p>
<p>肥満</p>	<p>調べた文献の中に見当たらない。</p>
<p>その他</p>	<p>調べた文献の中に見当たらない。</p>

参考文献

- (18) 和漢薬百科図鑑 I /II 保育社 難波恒雄 著  
(20) ハーブ大百科 誠文堂新光社 デニ・バウン  
(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳  
(58) The Complete German Commission E Monographs  
[\(PMID:8911702\) Clin Exp Allergy. 1996 Oct;26\(10\):1161-70.](#)  
[\(PMID:9934408\) Allergol Immunopathol \(Madr\). 1998 Nov-Dec;26\(6\):288-90.](#)  
(24) 漢方薬理学 南山堂 高木敬次郎ら 監修  
(2004274540) 皮膚科の臨床. 2004;46(7):1102-3.  
(2001191457) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 2001;73(2):113-5.  
(1985178035) 薬学雑誌. 1984;104(7):753-6.  
[\(PMID:19862948\) J Investig Allergol Clin Immunol. 2009;19\(5\):420-2.](#)  
[\(PMID:23770559\) Drug Metabol Drug Interact. 2013;28\(3\):187-9.](#)  
[\(PMID:30044501\) J Food Sci. 2018 Aug;83\(8\):2257-2264.](#)  
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)